

# 中小企業景況調査報告

(第3四半期)

2021年10月～12月期実績

2022年1月～3月期予測

2021年度当福山北商工会は、中小企業庁が公表する「経営発達支援計画」の認定を受けました。その事業として、管内事業所の景況調査を実施し基礎データとして公表いたします。

## 1.調査要領

### (1) 福山北商工会 管内地域基本情報

福山北商工会管内（駅家町、加茂町、山野町）事業者数は、令和2年度版統計ふくやまによると1,294社であり、内訳は建設業157件 製造業267件、小売・サービス業その他870件である。

### (2) 調査対象

対象地区・・・・・・・・駅家町、加茂町、山野町

対象企業・・・・・・・・15社

\*製造業3社、建設業2社、小売業4社、サービス業6社

### (3) 調査方法

経営指導員による訪問面談及び聞き取り調査

### (4) 調査機関

2021年10月～12月期実施

### (5) 調査時点

2021年11月15日

### (6) DI=ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）とは

前年同期に比べて「増加（上昇・好転）」―「減少（低下・悪化）」の回答企業の比率。

例えば、売上高の前年同期比で「増加」の回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、DIは $50-20= (+) 30$ となり、売上高の面では、「増加（上昇・好転）」気運であることを表す。

## 2.福山北商工会地域の状況

全業種の業況（今期の状況、次期の見通し）\*DI値のみ

業種	今期の状況 (2021年10月～12月)		次期の見通し (2022年1月～3月)
	前年同期 (2020年10月～12月)に比べて	前期 (2021年7月～9月)に比べて	次期 (2021年10月～12月)に比べて 来期の見通し
製造業	±0	±0	±0
建設業	▲50	▲50	±0
小売業	±0	±0	±0
サービス業	▲16.7	±0	±0

**製造業**

主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 3 社

項目	状況	今期の状況 (2021年10月～12月)		次期の見通し (2022年1月～3月)
		前年同期 (2020年10月～12月)に比べて	前期 (2021年7月～9月)に比べて	次期 (2021年10月～12月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	3	3	3
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
売上 (加工)額	増加	2	1	/
	不変	1	1	
	減少	0	1	
	D・I	66.7	±0	
売上 (加工)単価	増加	0	0	/
	不変	3	3	
	減少	0	0	
	D・I	±0	±0	
売上 (加工)数量	増加	1	1	/
	不変	2	2	
	減少	0	0	
	D・I	33.3	33.3	
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	3	3	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
原材料 仕入単価	上昇	2	/	/
	不変	1		
	低下	0		
	D・I	66.7		
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	3		
	悪化	0		
	D・I	±0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

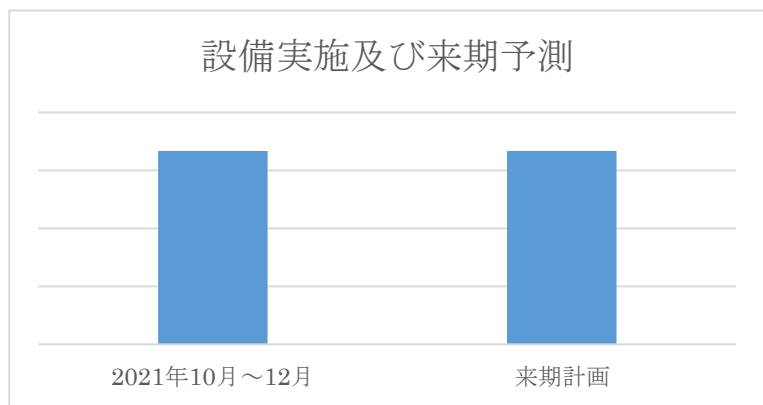
回答 3 事業所の内、2 事業所が実施。

内訳：生産設備、OA 機器

【来期計画内容】

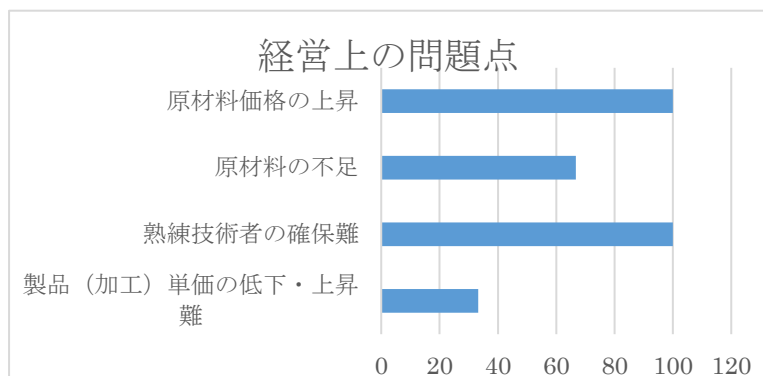
回答 3 事業所の内、2 事業所が計画。

内訳：生産設備、OA 機器



○今期の経営上の問題点

今期は、「原材料価格の上昇」や「熟練技術者の確保難」などの意見を多くいただいた。



**建設業** 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 2 社

項目	状況	今期の状況 (2021年10月～12月)		次期の見通し (2022年1月～3月)
		前年同期 (2020年10月～12月)に比べて	前期 (2021年7月～9月)に比べて	次期 (2021年10月～12月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	1	1	2
	悪化	1	1	0
	D・I	▲50	▲50	±0
完成工事 (請負工事)額	増加	0	0	/
	不変	1	2	
	減少	1	0	
	D・I	▲50	±0	
受注 (新規契約工事)額	増加	0	/	/
	不変	1		
	減少	1		
	D・I	▲50		
材料仕入単価	増加	1	/	/
	不変	1		
	減少	0		
	D・I	50		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	2	2	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	1		
	悪化	1		
	D・I	▲50		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答 2 事業所の内、設備実施無し。

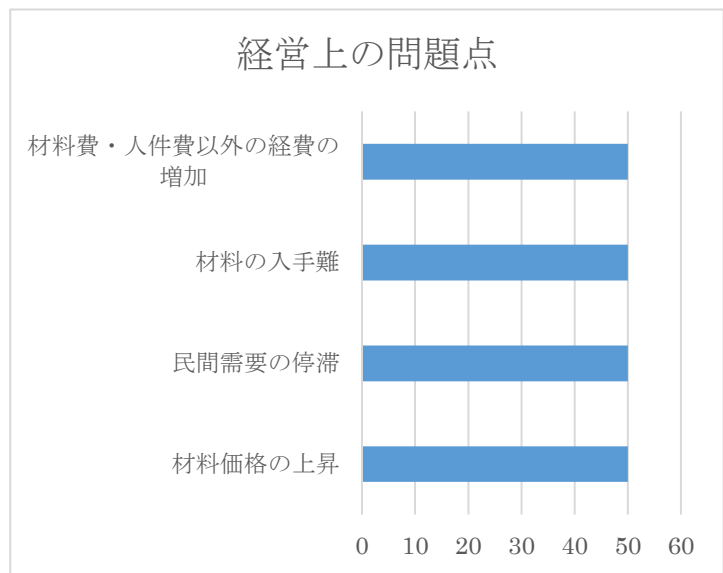
【来期計画内容】

回答 2 事業所の内、計画は未定。



○今期の経営上の問題点

今期は、各種経費などの増加に加えて材料の入手が困難な状況にあるとの声を多くいただいた。また、取引条件の悪化が出てきている。



**小 売 業** 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数4社

項目	状況	今期の状況 (2021年10月～12月)		次期の見通し (2022年1月～3月)
		前年同期 (2020年10月～12月)に比べて	前期 (2021年7月～9月)に比べて	次期 (2021年10月～12月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	4	4	4
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
売上額	増加	0	0	/
	不変	4	4	
	減少	0	0	
	D・I	±0	±0	
客単価	上昇	0	0	/
	不変	4	4	
	低下	0	0	
	D・I	±0	±0	
商品仕入単価	上昇	4	/	/
	不変	0		
	低下	0		
	D・I	100		
商品仕入額	増加	2	/	/
	不変	2		
	減少	0		
	D・I	50		
商品在庫数量	増加	0	/	/
	不変	4		
	減少	0		
	D・I	±0		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	4	4	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	4		
	悪化	0		
	D・I	±0		

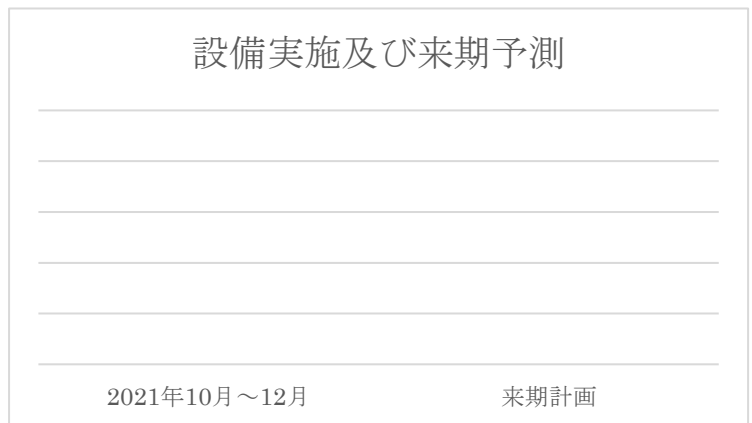
○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答4事業所の内、実施は無し。

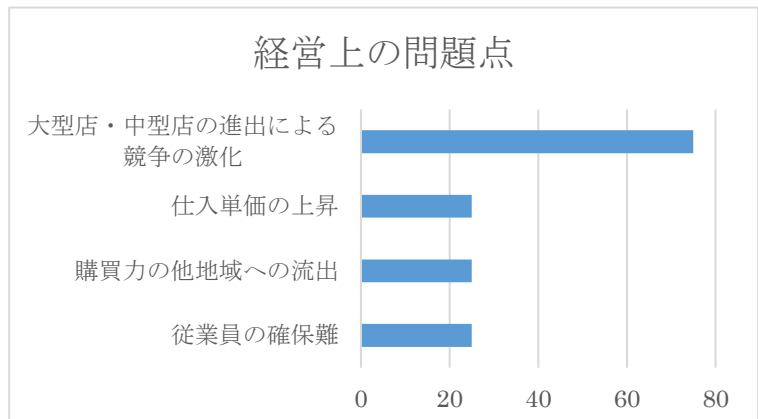
【来期計画内容】

回答4事業所の内、計画は無し。



○今期の経営上の問題点

今回の調査において、「大型店・中型店の進出による競争の激化」など意見を多くいただいた。



**サービス業**

主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 6 社

項目	状況	今期の状況 (2021年10月～12月)		次期の見通し (2022年1月～3月)
		前年同期 (2020年10月～12月)に比べて	前期 (2021年7月～9月)に比べて	次期 (2021年10月～12月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	6	6	6
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
売上(収入)額	増加	1	1	/
	不変	4	4	
	減少	1	1	
	D・I	±0	±0	
客単価	上昇	1	1	/
	不変	5	5	
	低下	0	0	
	D・I	16.7	16.7	
仕入単価(材料等)	上昇	5	/	/
	不変	1		
	低下	0		
	D・I	83.3		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	6	6	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	5		
	悪化	1		
	D・I	▲16.7		

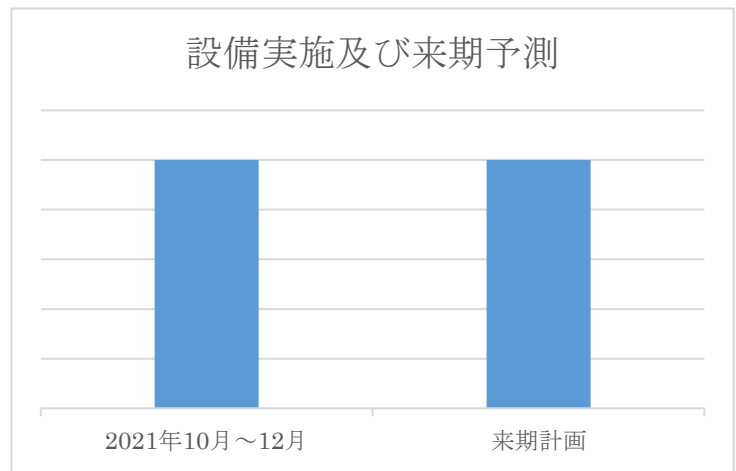
○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答 6 事業所の内、3 事業所が実施。  
内訳：サービス設備、OA 機器

【来期計画内容】

回答 6 事業所の内、3 事業所が実施予定。  
内訳：サービス設備、OA 機器



○今期の経営上の問題点

今回は「材料等仕入単価の上昇」が多く続いて、「人件費の増加」や「新規参入業者の増加」に関する事項の回答などあげていただいた。

